



# ゆずっこ

福島市立御山小学校  
学校だより NO. 4  
令和7年7月25日(金)  
発行者 校長 高澤 里美

## 何気ない毎日をおして

1学期は、72日間でした。子どもたちが過ごした毎日は、何気ない毎日として過ぎていきますが、その何気ない毎日をおして、感じることも、学ぶことも、悔やむことも…全てが、子どもたちの成長にとってはかけがえのないものです。学校は、家庭とは違って、大人も子どもも、実にいろいろな人がいます。だからこそ訪れる貴重な瞬間があります。

子どもたちが過ごした何気ない毎日をほんの少しですがご紹介します。



お米にはね、神様がいらっしゃるんだよ。米粒1つでもおいしくいただこうね。



4月14日 1年生の給食スタートです。ボランティアに来てくださった方が、食べ物を粗末にしない子どもに育ててほしいとの願いを込めて語りかけてくださいます。



どんなことやりたい？

ふざけてないで、意見出してよ。

新学期のスタートは、何かと話し合う機会が多くなります。係活動の計画づくり、学級目標などなど。意見がまとまらずイライラすることも。何度も失敗しながら、折り合いの付け方を学んでいきます。



おもしろいのができたでしょ。

気に入ってるの。

だれかと一緒に考えると、自分では思いもつかないアイデアが生まれます。知らなかった友達のよさにも気付きます。







大切なことは「協力」です。

切り方、あってるかな。

初めてのことで、友達と確認  
し合えば心強いのです。



自分でつくるのと  
こんなにおいしいんだ！

つかれた～。

普段できない経験は、子どもたちを大きく成長させてくれます。  
「がんばればできる自分」に気付いたり、「家族の支え」に感謝したり…  
何気なく見過ごされてきたことを、自覚できる機会となります。



いや～楽しかった。

早く家に帰りたいなあ。



大きさによって  
いろいろな音が出ると  
いうことがわかりました。

子どもたちの学びは、教員だけではなく、多くの人々の力によって支えられています。本物に触れる、専門家から学ぶ、そんな機会がとても大切です。



音が重なると、もっときれいになるんだね。



子どもたちは たくさん学んで 大きくなっていきます